
散るチル満ちる

Y.Y

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

散るチル満ちる

【Nコード】

N6389E

【作者名】

Y・Y

【あらすじ】

森の中の一本の『散る散る』と、その森で大きくなって一つだけの『満ちる』。樹と川の、小さな物語。

『散る散る』はいつもそこに立っている。

突っ立って、一生懸命に腕を伸ばして

他の仲間達と同じく

一所懸命にそこに生きていた。

そんな『散る散る』にも、長い時を共にした友達がいる。

名を『満ちる』という。

『満ちる』はいつもそこに存在して

広く深く、体をいっぱいに広げて

全てを受け止め、全てに分け与えていた。

だけど『満ちる』には同じような仲間がいなかった。

「淋しくないの？」

彼女の一番近くにいる『散る散る』が言った。

「淋しくなんかいいわ」

『満ちる』は穏やかに言った。

だって私はたくさんいて

あなたたちと共にずっと在り続けているもの。

それに雨が降れば

たくさんの『私』が帰ってきて

私の中に

たくさんの思い出が胸に甦るから。

「だから淋しくなんかないわ」

『満ちる』は穏やかに言った。

「それじゃあ僕の中にも」

「君はいるんだね」

『散る散る』は言った。

ざわざわ

風が吹いてきた。

『散る散る』が揺れる。

『満ちる』も揺れる。

「そうよ」

「あなたの中にも私はいるの」

『満ちる』は嬉しそうに言った。

「みんなにもいるの」

『満ちる』は嬉しそうに言った。

「じゃあ君が僕を生かしてくれているんだね」

『散る散る』のひとつが『満ちる』の上に落ちて

『満ちる』の顔を揺らがせた。

「みんなを生かしてくれているんだね」

『満ちる』に『散る散る』が映りこむ。

「ありがとう」

「ありがとう」

「僕たちの命を育ててくれて」

「私を必要としてくれて」

『散る散る』は彼女が大好きになった。

『満ちる』も彼が大好きになった。

それから

たくさんの時が流れた。

それから

たくさんの仲間が消えていった。

『散る散る』だけが

突っ立っていた。

『満ちる』だけが

彼と共にいた。

「ずいぶん変わっちゃったね」

『散る散る』が言った。

周りは皆

切り株だらけになっていた。

「あなたは変わらないわ」

『満ちる』が言った。

「だって私がいるもの」

山は皆

はげ山と化していた。

二人だけ残った。

「そうだね」

「君がいるんだもの」

『散る散る』は嬉しそうにいった。

「僕はずっと君と一緒にだ」

遠くで

風とは違う

音が聞こえる。

「私はずっとあなたと一緒にね」

音はどんどん

近づいてくる。

「幸せだね」

耳障りな音が

何かを削っている。

「幸せよ」

木屑が

飛び散っていく

「『散る散る』・・・」

「『満ちる』・・・」

しばらくして

『散る散る』の一つとは違うものが

『満ちる』を揺るがせた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6389e/>

散るチル満ちる

2011年1月13日17時46分発行